



- ☆☆育てたい「いまじゅくの子」☆☆
- い ○いきいきとした心と体をつくる子(体)
  - ま ○**学びをいかそうとする子(知)**
  - じ ○自分とみんなを大切にする子(徳)
  - ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子(公)
  - く ○**くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子(開)**



## 旭区一斉授業研究会

校長 島田 恒弘

1月24日(水)、旭区一斉授業研究会が行われました。ほとんどの児童が4校時で下校しましたが、本校では2年3組と5年1組の児童が学校に残り、旭区内各校から来た先生方に授業を公開しました。

同様に、他の学校でも授業が公開され、本校の先生方は区内の授業校へ参観しに出かけていました。これが旭区一斉授業研究会といわれるもので、教科等(国語、算数、理科、社会、音楽、体育、図画工作、家庭、道徳、生活・総合、特別活動、情報教育、学校図書館、学校食育、養護、特別支援、外国語)が年1回ずつ授業研究会を実施しています。



発言する友達の方を見て話を聞く5年生

5年生は「6年生に向けてめあてと取り組むことを決める」という内容で話し合いました。

10月から6年生のがんばる姿をモニタリングして、素敵な姿を6つにまとめていました。話し合いを通して自分はそのうちの姿になりたいかを決め、最後にめあてと取組を自分づくりパスポートに記入しました。

多くの児童が「考えて行動する姿」を選んでめあてと取組を記入していましたが、中には「計画的に行動する姿」を選ぶ児童もいて、最高学年に向けて自分がどうなりたいかを考える高学年らしい時間となりました。来年度の活躍を期待する気持ちが膨らみました。



発言する友達の方を見て話を聞く2年生  
参観した先生方から、子供たちが積極的に発言し、聞く姿に感動しました、と感想をいただきました。

2年生は「かかりありがとうパーティー」について話し合いました。クラスのめあてである「はなばたけ」から「花たば」をつくるには「くじ引き」がいいか、「渡したい相手に渡す」方がいいかについて賛成、反対の意見を出し合いました。なかなか決まりませんでした。が「くじ引き」に決まり、話し合いが終わった後に、花たばを渡す係をくじて決めていました。

2年生はこれまでに学年集会を経験しているので、話し合いのめあてを意識し、経験を元にして話し合っている姿がすてきでした。

## 給食週間

1889(明治22)年に、山形県で給食が始まりました。1947(昭和22)年12月に全国都市で学校給食が開始。これを記念して1月24日から1週間が給食週間となりました。本校では、集会で給食委員会が給食クイズを出し、調理員さんに感謝の言葉を贈り、「食べ残しを減らしましょう。」と呼びかけて取組が始まりました。栄養職員の話によると残食が減っているとのこと。

食材の命と生産者・調理員への感謝を深めています。



給食委員会による給食集会